

いそファミ通信

H21年 1月号



明けましておめでとうございます。

本年も皆様の健康の維持、増進に努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

今回のテーマは、すでに市内でも流行っている『インフルエンザの速報』と早い対策が望ましい『花粉症』についてです。

インフルエンザとは・・・

インフルエンザは、個人差はありますが1日～3日の潜伏期を経てくしゃみや咳、悪寒、発熱、倦怠感などの症状が出ます。インフルエンザは、くしゃみや咳、痰などに含まれるウイルスを、他の人が呼吸器（鼻やのどなど）から吸い込んでしまうことによって感染します。くしゃみや咳などの症状が出る前の潜伏期でしたら、人にうつることはありません。

インフルエンザにかかったあとの登校、入社については、学校保健法では、「**解熱した後2日を経過するまで**」は登校を控えるようにと定められているので、熱が下がって2日たってから登校するのが目安です。ただし、症状をみながら医師に相談して、登校日を決めるといいでしょう。職場に復帰する目安については、特に決まりはありませんが、インフルエンザにかかった後は体力が落ちていることもあるので、無理をせず、十分に回復してから復帰するのがベストです。

★インフルエンザ速報★（一宮市感染情報、定点18ヶ所：H20年12/22～28）

インフルエンザ患者数：75人（A型74人、B型1人）

〈地域別〉

北方・浅井：11人	丹陽・千秋南：15人
奥町・今伊勢：7人	市街駅西：7人
萩原・大和：12人	市街駅東：19人
西成・千秋北：2人	旧尾西：2人（木曾川：0人）

2009年全国花粉飛散予想（ウェザーニュースより）

スギ花粉の飛散量

『西～東日本：08年と同じか多め』 『北日本：08年より少なめ』

スギ花粉を出す雄花の数は、一般に、前年の夏が猛暑だと多くなり、冷夏だと少なくなります。2008年の夏は、西～東日本ではゲリラ雷雨があるものの7～8月は晴れることが多く、対して北日本では6月は晴れる日が多かったのですが、7～8月は前線の影響で曇りや雨の日が続いていました。このことから、来春の飛散が、西～東日本は昨シーズンと同等かそれを上回るどころが多く、北日本では昨シーズンより少なくなると予想しています。

飛散はいつ？

『2008年と同じ頃か、やや遅め』

飛散開始は、秋～冬～春への気温の変化によって大きく変わります。まず、2008年は11月後半から寒気の影響により、スギの雄花の休眠は、十分に行われると考えられます。また2月は寒気の影響で、冬らしい寒さが続きますが、3月に入ると、一気に春めく予想となっています。そのため、比較的早めに飛散した2008年と同じ頃か、やや遅くに飛散する所が多くなり、西～東日本では、3月に花粉シーズンのピークに突入すると思われます。

